

2022年

元旦

## 2022年 新年のご挨拶

大田区サッカー協会 大前卓也

大田区サッカーファミリーの皆さんへ

### 明けましておめでとうございます

昨年は、年度早々から目に見えない“敵”新型コロナによる“緊急事態宣言”で活動の休止がやむなくされ、9月から再開された活動も、ウォーキングサッカーのごとく、フリーなサッカーではなくコロナへの対策という条件をつけられた、息詰まる感じの運営・活動を余儀なくされました。この状態は、今なお継続されていますが、サッカー協会理事の皆さん、加入クラブ・チームの皆さんのご尽力により、特に問題なく新年を迎えられたこと感謝とともに厚くお礼申し上げる次第であります。

その様な結果、年末には、“TOKYO BAY SUPER CUP (246 連盟主催・46 チーム) で【大田区少年選抜】が見事”優勝“という朗報がありました。これも参加された選手、協会理事監督・コーチとご協力賜りました保護者の情熱とご協力のおかげと大変嬉しく思っていますと共に”大田区少年“の全体のレベルアップに繋がったことを大変強く感じています。

尚、参加選手、指導者・保護者の皆さんも“勝利”は一時の喜びと命じ、育成年代の将来を見据えた長いスパンの中で、上には上の世界があることを忘れず、これからの精進・努力を

希望します。

「OFA」の他の“カテゴリー”におきましても、悪い環境の中ではありますが、目に見えない“敵”との戦いに、適正なる“対応”での活動運営で“朗報”を期待いたします。

本年は、【ワールドカップ】（カタール）の年であります。現在2次予選中ですが、やっと出場枠の2位にランクされていますが、残り4戦は強敵が相手（中国・サウジ・オーストラリア）になります。全勝が必須条件ですが「JFA」の取り組み方ではどうか？のつくように感じますが、私だけでしょうか？

ヨーロッパではコロナ禍でも自国のリーグの他“チャンピオンリーグ”・ヨーロッパリーグ“また  
“EURO20”といった厳しい戦いの中で、サポーターも監督も選手も寒さの中、必死の様相で戦っている状況をいつもTV観戦していると、さすがにサッカー文明の深さと勝負の厳しさを、ひしひしと感じてしまいます。“SAMURAI BLUE”が、FIFAランクの低いチームを招待して、練習試合の勝利に酔って良として、【ワールドカップ】に向かうようでは、その意気込みに、大きな差があるように思えます。

今夏の【東京オリンピック】でも、無観客で戦った”U-24”は、予選リーグは全勝で突破したが、3位決定戦で、予選リーグで勝利したメキシコに完敗して4位に止まり、ホーム戦でありながらの敗戦にがっかりさせられました。

また“なでしこ”も立て直しの過渡期かもしれないが、予選3位での通過でしたが、トーナ

メント 1 回戦でスエーデンに 1:3 で完敗し、ホームの利も生かせぬ中、消えてしまいました。【JFA】 の今後の基本的な世界戦への取り組みを期待したいものです。

地球上での先輩である“ウイルス”の人間の“横暴極まる行動”に新型コロナで戦いを挑んできましたが、ワクチンで沈静化に見えましたが、人間の改心や反省のないことに改めて、オミクロンという新兵器で日本にも再上陸してきました。水際作戦とやらもママならぬ中で、第六波襲来に脅かされそうですが、ウイルスへの対策を厳守し、また、今までの経験を利し、今年度の「事業運営」に邁進しましょう！

ちなみに昨年は、月一度のペースで、“オンライン会議/OFA 常任理事会”を開催致しましたことを申し伝えておきます。 本年も何卒、宜しく願い申し上げます。

本年も大田区サッカーファミリーの皆さんに“幸”あれ！